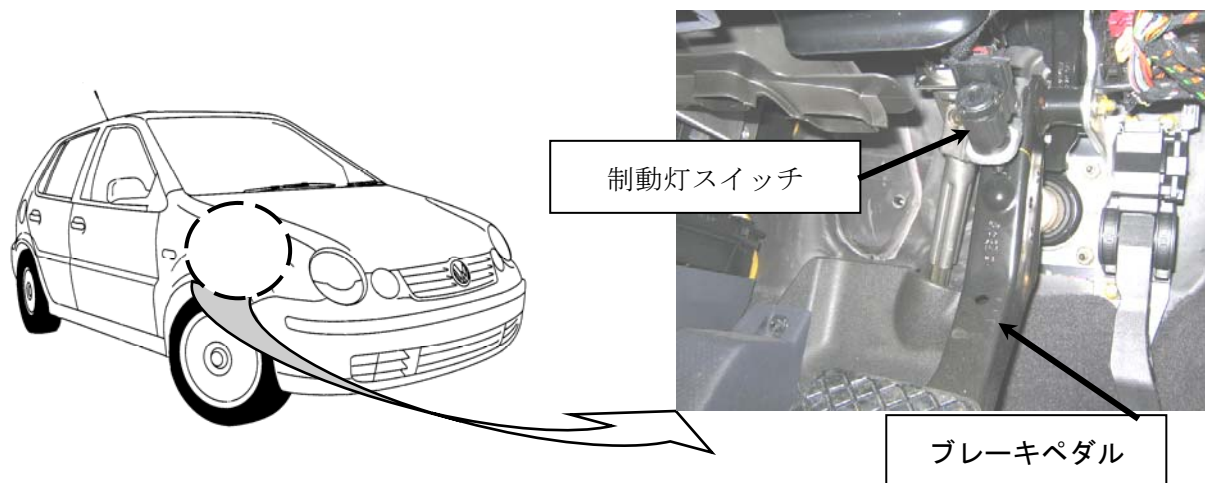


改善箇所説明図

VW ポロ 制動灯スイッチ改修



不具合発生箇所

制動灯スイッチ内部の接点の電気負荷に対する容量が不足しているため、制動装置作動時に接点が焼き付き、焼損または熱による変形が発生することがある。そのため、そのままの使用を続けると、制動灯が点灯したままの状態になる、または、制動灯が点灯しなくなり、シフトレバーが作動しなくなるおそれがある。

改善内容

全車両、制動灯スイッチを対策品に交換するとともに制動灯スイッチ配線にリレーを追加する。また、2005年モデル以外の車両については、上記対策とともに、エンジンECUのプログラムを変更する。

識別：キャンペーンステッカーに「24J5、日付（西暦・月・日の順）、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に張付ける。

